

# 平成24年度一般会計決算 56億494万円

## 依存財源 地方交付税 32億8,533万円

平成24年度 各会計歳入歳出決算状況 (単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		5,604,941,656	5,430,517,241
特別会計	国民健康保険特別会計	72,866,346	72,811,410
	後期高齢者医療特別会計	198,383,526	197,767,542
	介護保険特別会計	963,480,107	963,387,088
	公共下水道事業特別会計	137,448,572	137,106,631
	町立真室川病院事業会計	1,106,060,475	1,105,783,868
	水道事業特別会計	596,011,910	595,982,746
	まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	83,859,379	83,859,379
合計		8,763,051,971	8,587,215,905

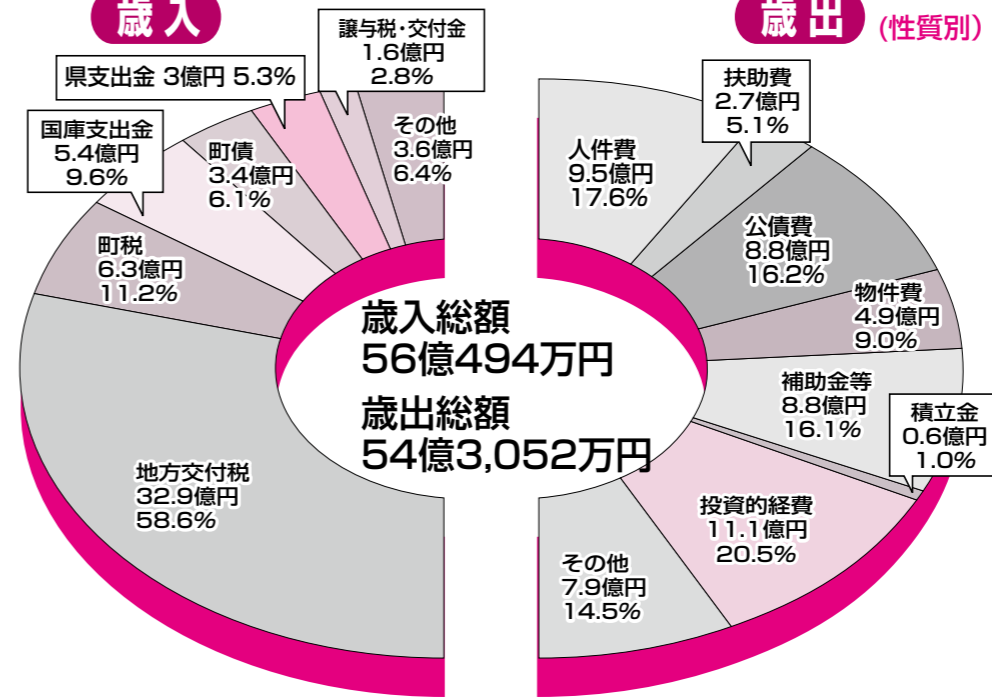
※町立真室川病院事業会計は、水道事業特別会計、まむろ川温泉梅里苑事業特別会計は消費税を除き、過年度留保資金等で補填した額を歳入決算額に含めて記載しています。

出てくれば積極的にやっていきたい。  
パブリックコメント  
問 外からは何も見えない。パブリックコメントの在り方、町として町民からどういった意見が出てどう生かされているのか公表すべき。

# 実質収支額 1億7,442万円

## 8会計の決算を賛成多数により可決!!

一般会計の構成



※後期高齢者広域連合派遣職員人件費を控除しているため歳出総額は決算書と異なります。

町民課長 財産がなく収入が低い方、生活困窮が継続している方。死亡、相続放棄や行方不明もあり、生活困窮が多数。  
問 使用料及び手数料の収入未済の内容は。  
建設課長補佐 町営住宅使用料である。  
問 今後収納の見込みと具体的な働きかけは。

町長 各課でいろいろ町民のみなさんから聞いてはいる。まとめて提出できるようにやっていく。委員 ぜひ真剣に取り組みを。  
※町の政策決定について町民の意見を募り反映させる制度

### 質疑のあれこれ

問 全会計の町債の残高が81億円あり、人口も減となるので残高がこのままで良いのかを伺う。

総務課長 財政計画5年間の中で10億円を減額する計画である。ほかの市町村と比べても高くはなく町の財政に圧迫はない。

町立病院 収入減の原因について伺う。

病院事務長 診療所の患者の減が主な収入のマイナスとなった。  
問 診療所が閉設にならないような施策について

問 現在、週2回の診察を行っているが、10月末に1名の医師が辞める。しかし11月から内科医1名の増となるので継続が出来ると思う。

問 25年度で改革プランが終了する。そのあとの目標指数、事業計画は。  
病院事務長 今年度は29年度までの指標を出しており、それが計画である。

#### 遊楽館経費

問 遊楽館の使用料、光熱費等はどこから出てどれくらいかかっているのかわかりにくい。  
産業課長 一般会計の交流施設管理費に含まれている。  
問 一般会計に移した理

#### 介護保険料

問 23年度比で45・9%増と急激に保険料が上昇したが。  
福祉課長 24年度から第5期の計画期間となり、介護報酬の単価が変わったほか、町では昨年5月



総合保健施設

に梅花苑がオープン。高齢化とともに要介護認定者の増があった。  
問 保険料の支払いや、利用料負担が困難で利用を控えている人はいるか。  
福祉課長 地域包括支援センター等で相談を受けているが、生活困窮という話は聞かない。  
問 保険料の設定は変えられないか。  
福祉課長 途中で保険料を見直すことは国、県の計画にも影響を及ぼすため、考えていない。  
問 国や県の負担の在り方も含めて、制度改善を求める考えは。  
町長 県、国の指導も得ながら、町としても県の動向を見ながら対応していく。